

総合型選抜入試(女性人材育成型)の実施について

① 当該選抜の目的

本学部では、健康スポーツ科学と情報工学を横断的に学び、スポーツを通して人々の健康実現とウェルビーイングな社会の発展に貢献できる人材の育成を目指している。近年、DX 推進やデータ活用の重要性が高まる一方で、理工・情報系分野における女性比率は依然として低い状況にある。また、スポーツ分野においても、女性のスポーツ実施率向上やスポーツを通じた女性活躍の推進が求められている。このような背景を踏まえ、本学部では多様な価値観を理解し、スポーツ DX を通じて女性のスポーツ参画や社会課題の解決に主体的に取り組む女性人材の育成を目的として、本選抜を実施する。

② 評価する能力

本学部のアドミッション・ポリシーに基づき、健康スポーツ科学と情報工学を学ぶために必要な基礎的知識・技能に加え、多様な価値観を持つ人々と協働しながら、社会課題の解決に主体的に取り組もうとする姿勢を評価する。さらに、スポーツや健康、情報技術に対する関心、人々の健康実現とウェルビーイングな社会の発展に貢献しようとする意欲について、事前課題、面接、書類審査を通じて総合的に判定する。

③ 期待する成果・効果

本選抜を通じて、健康スポーツ科学と情報工学の知識・技能を活用して社会課題の解決に取り組む女性人材の育成を期待している。卒業後は、スポーツ、健康、教育、スポーツテック産業、情報関連分野など幅広い領域において、人々の健康実現とウェルビーイングな社会の発展に貢献するとともに、理工・情報系分野における女性活躍の推進や、多角的な視点を活かしたスポーツ環境づくりを担うことを期待する。

④ 実施する合理的な理由

近年、DX 推進やデータ活用の重要性が高まる一方で、理工・情報系分野における女性比率は依然として低い状況にある。また、スポーツ分野では、女性アスリート支援や多様なニーズへの対応など、多角的な視点を踏まえた取り組みが求められている。この社会的背景を踏まえ、健康スポーツ科学と情報工学を学ぶ本学部において、多様性を確保しながら、スポーツ DX を推進できる女性人材を育成するため、本選抜を実施する。